

令和7年度の予定

●開催中の企画展

地誌の見方・調べ方 2月21日(金)～6月15日(日)

■ギャラリー・トーク、講演会開催

●次回企画展

収蔵品展 —台東区の地域資料—

令和7年6月20日(金)～8月31日(日)

郷土・資料調査室では、台東区や東京都の郷土資料をはじめ、官報、東京都公報などの行政資料、辞典、辞書、法規全集、新聞の縮刷版など、調査用の資料を広く収集しています。

本企画展では、郷土・資料調査室で所蔵している台東区の地域資料をご紹介します。郷土・資料調査室をまだ訪れたことがない方もぜひ一度足をお運びください。

台東区の歴史について興味を持ち、さらなる魅力を発見していただければ幸いです。

■ギャラリー・トーク開催



▲郷土・資料調査室ガラス戸

■中央図書館 休館のお知らせ■

令和7年9月1日(月)～令和8年11月末(予定)

中央図書館のある生涯学習センターの改修工事实施に伴い、中央図書館2階郷土・資料調査室の利用もできなくなります。

詳しくは、台東区立図書館ホームページまたは右記二次元コードをご確認ください。



▲休館について

休館中でも利用できるサービス

「台東区立図書館デジタルアーカイブ」は休館中でも利用することができます。

デジタルアーカイブでは、台東区立中央図書館で所蔵している和本、浮世絵、地図、絵はがき、写真等の貴重資料をデジタル化し公開しています。また高画質・高精細な画像で資料を見ることや、資料のキーワード検索ができます。

デジタルアーカイブに掲載された貴重資料は、一部を除き自由にダウンロードし、ご利用いただけます。

ご利用は、台東区立図書館ホームページから「台東区立図書館デジタルアーカイブ」のバーナーをクリックするか右記の二次元コードからアクセスをしてください。



▲デジタルアーカイブトップページ



▲デジタルアーカイブバーナー

台東区立中央図書館 郷土・資料調査室

〒111-8621
東京都台東区西浅草 3-25-16
TEL. 03-5246-5911
https://www.city.taito.lg.jp/library/index.html

【開館時間】
月～土曜日 午前9時～午後8時
日曜・祝日 午前9時～午後5時

【アクセス】

- つくばエクスプレス「浅草」駅 A2出口から徒歩8分
- 地下鉄日比谷線「入谷」駅 徒歩8分
- 北めぐりん・南めぐりん「生涯学習センター北」徒歩3分
- 「生涯学習センター南」徒歩3分
- 都バス「入谷二丁目」停留所 徒歩3分



台東区立中央図書館

郷土・資料調査室報

2025 令和7年3月 第15号

郷土・資料調査室の貴重資料を紹介するコーナー

書庫を繙く

東都名所浅草金龍山門前 (江戸東京博物館蔵)

江戸名所図会 巻6 浅草寺

増補分

植木市 (右端が振り売りの植木屋)

江戸名所図会 巻6 東本願寺

江戸砂子 巻2 千本桜 (筑波大学附属図書館蔵)

再校江戸砂子 巻2 千本桜

絵本江戸土産 6編 浅草御門跡 (本願寺)

同上 なまこ壁の塀と新堀川

今回は、開催中の企画展「地誌の見方・調べ方」から資料をご紹介します。「地誌」とは、地域の自然・社会・文化などの地理的現象を記述して地域の特色を示したものをいいます。展示では江戸の地誌に注目し、18世紀成立の『江戸砂子』や『江戸名所図会』、19世紀の歌川広重による『絵本江戸土産』などの名所図や幕末期出版物をご紹介します。

『江戸名所図会』は、天保5年(1832)と同7年に刊行された有名な地誌ですが、浮世絵師・歌川広重は、この絵入りの地誌を元に浮世絵を描いたと思われる構図がいくつもあります。

浅草寺は、雷門前に火除け地として広小路が設けられていましたが、ここでは日を決めて植木市が開かれていました。巻6の『江戸名所図会』には、根が付いたままの樹木を売る植木屋2人と、植木鉢を並べる植木棚が2台描かれています。対して広重の「東都名所浅草金龍山門前」(弘化4～嘉永5年[1847～1852]制作)では、植木棚が3台に増え、天秤棒で植木を売る振り売りの植木屋が1人増えています(右端)。

同じく『江戸名所図会』巻6東本願寺では、雲で部分的に隠してはいるものの境内伽藍を細部まで描いているのに対し、広重『江戸土産』6編では、特徴的な大きな屋根と新堀川を行き来する汚穢船の風景だけを選んだ構図にしています。よく見ると、『江戸土産』は石垣の塀から松林が見えていますが、『江戸名所図会』のそ

れは、石垣の向こう側に道がありさらに腰壁をなまこ壁(平瓦を打ちつけ目地をかまぼこ形に盛り上げた漆喰塗りの壁)にした塀が見えます。この描写の差は絵師の視点の位置によるもので、前者は新堀川に並行して水平のため塀の脇の石垣しか見えず、後者は空高い上空から鳥瞰しているため、道路、塀、境内といった広域にわたって描かれています。

絵だけでなく、文章も時を経て訂正されたり、追加されたりすることもあります。そのよい例が、享保17年(1732)発行『江戸砂子』です。増補版『続江戸砂子』が同20年に発行され、明和9年(1772)には増補版を初版に加えた『再校江戸砂子』が発行されました。ここでは、時代を経ることによって地誌としての情報量に差が出ているのがわかります。

浅草寺境内にあった千本桜を例にすると、最初の『江戸砂子』では「千本桜」の項はなく、「小町桜」の次に「船松」が続きますが、40年後発行『再校江戸砂子』では、

△千本桜 本堂の北の方 元文の頃桜千株寄附ありて載る。のほか「釈迦堂」「常念仏堂」「弁才天社」の計4項が、この短い部分だけでも増えています。これらは欄外に補と入れてあることにより、増補部分が明確にわかるように工夫されています。

以上のほか総数38点を展示した「地誌の見方・調べ方」は、6月15日(日)まで開催します(会期中展示替えあり)。

郷土・資料調査室紹介

中央図書館は下記の期間休館いたします。郷土・資料調査室もご利用いただけません。

令和7年9月1日～令和8年11月末（予定）

最新情報は、台東区立図書館ホームページをご確認ください。

郷土・資料調査室 所蔵資料

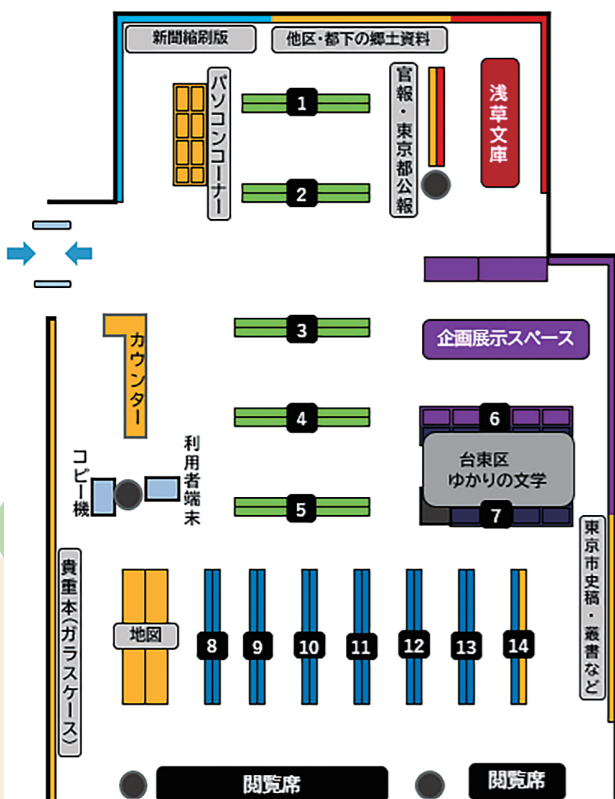
休館・改修工事前の郷土・資料調査室の一部をご紹介します。

■ 新聞縮刷版

朝日新聞と日本経済新聞の縮刷版を継続的に収集しています。縮刷版コーナーには、朝日新聞最新5年分と明治21年以降昭和20年までの復刻版、日本経済新聞最新3年分を置いています。



読売・毎日の一部を含め室内の棚にないバックナンバーも保管庫に所蔵しています。



▲郷土・資料調査室 略図

■ 吉原関係資料

吉原に関するお問い合わせが多いため、平成28年に新たに吉原関係資料のみを集め、棚番号5番に並べています。



今年の大河ドラマ主人公「葛屋重三郎」関連本も棚5に排架しています。
※令和7年のみ

■ ゆかりの文学コーナー

台東区にゆかりの深い文学作品から、明治時代以降、近・現代の作品を約2,500冊所蔵し、一部を除き原則貸出可能になっています。



■ 浅草文庫コーナー

浅草観光連盟が、昭和52年（1977）から平成23年（2011）まで運営していた私設図書館「浅草文庫」から台東区に寄贈された本を置いています。



「芝居」「落語」など芸能ジャンルに関するものが多く集まっています。

■ 企画展示スペース

中央図書館で所蔵している浮世絵・和本・地図等の貴重資料を用いて、台東区の地域や変遷、ゆかりの人物等を紹介しています。



令和6年度の企画展

地図でたどる台東区の変遷

3月22日（金）～6月16日（日）

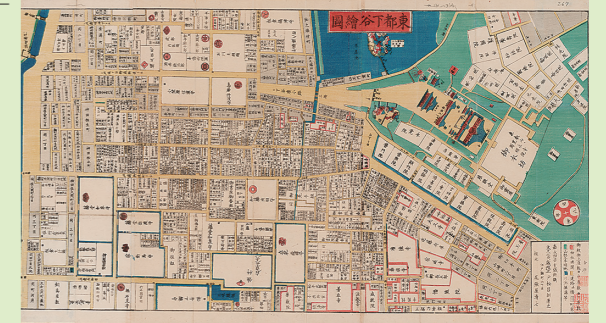
土地の情報を伝える手段として、地図は古くから用いられてきました。現実の情報を抽象化・記号化して図に表した地図は、地理空間情報を効率的に伝えることができます。

台東区立中央図書館でも、江戸切絵図や明治の下谷区・浅草区の地図、地域の案内図など、様々な地図を所蔵しています。

本企画展では、当館所蔵の貴重資料の地図を用いて台東区の変遷をたどっていきます。

イベント

◆図書館員によるギャラリー・トーク 4月21日（日）・5月12日（日）



▲東都下谷絵図

吉原細見の世界Ⅲ 前編

6月21日（金）～9月16日（月・祝）

江戸時代後期に出版された、吉原のガイドブック「吉原細見」には、吉原の遊郭の場所、遊女や茶屋の名前などが記されています。これまで当館では企画展において、平成26年に「吉原細見の世界」、令和元年に「吉原細見の世界Ⅱ」と、江戸時代の吉原細見を用いて様々な視点から江戸文化を取り上げてきました。

本企画展では、葛屋重三郎（葛重）をはじめ吉原細見を出版した板元（版元）の視点から、台東区を舞台にした江戸文化を紐解き、浮世絵と吉原細見に関係が深い、ほかの板元の業績も追っていきます。



▲〔新吉原細見〕

イベント

◆講演会 「吉原の本屋 葛屋重三郎」 7月20日（土） 鈴木俊幸（中央大学文学部教授）

◆トーク・イベント 「吉原細見スライドトークとブックトーク」 8月3日（土）

スライドトーク 平野恵（当館専門員）・ブックトーク 児玉ひろ美（当館司書）

◆専門員によるギャラリー・トーク 6月30日（日）

台東区の池と堀

9月20日（金）～12月15日（日）

台東区の地形は西側の台地と東側の低地からなり、16世紀頃まで低地部分に湿地や池がありました。江戸幕府は湿地を埋め立て、水路をひいて町を作っていきます。その水路は明治時代以降も使われ、やがて埋め立てられたり暗渠になったりして姿を消してしまいました。

本企画展では、当館所蔵の浮世絵や地図等の貴重資料を用いて、台東区の池と堀の歴史をご紹介します。

イベント

◆不忍池散歩 ガイド：台東区観光ボランティアの会 10月11日（金）・26日（土）

◆図書館員によるギャラリー・トーク 10月9日（水）



▲東京上野忍ヶ岡競馬会之図

吉原細見の世界Ⅲ 後編

12月20日（金）～令和7年2月16日（日）

本年6月に開催した「吉原細見の世界Ⅲ前編」に続き、本企画展では、吉原細見に序文を寄せた平賀源内、十返舎一九、朋誠堂喜三二、山東京伝、阿部樸斎の5人の著作をご紹介します。

イベント

◆講演会 「平賀源内と吉原細見、そしてフランスへ」 1月26日（日）

福田安典（日本女子大学文学部教授）

◆専門員によるギャラリー・トーク 12月22日（日）・1月8日（水）



▲江戸八景 吉原の夜雨